

あいちマッチングの成果レポート

1 これまでの経緯

愛知県は、愛知県企業のイノベーション創出や新事業展開を図るために、スタートアップとのオープンイノベーションを促進しています。その一環として、2019年度から、スタートアップ支援に造詣の深いコーディネーターが、首都圏等のスタートアップと愛知県企業のマッチング等を行うことで、オープンイノベーションを促進する「あいちマッチング」を実施しています。

本事業は、2019年度から2021年度まで、年2回^{※1}首都圏等のスタートアップと愛知県企業を対象とし、コーディネーターが事前にオンライン上で精緻な調整を行った上で臨む、マッチングプログラム（商談会）を実施しました。

2022年度からは事業を一部改善し、マッチングプログラムを事業前半で1回実施するとともに、事業後半には、アクセラレーションプログラム^{※2}として、マッチング後の事業共創に係る伴走支援を、愛知県企業とスタートアップの両者に対して行うことで、協業・出資等の具体的な成果に結びつけていきます。

また、オープンイノベーションの事例、実施手法等を紹介することで、愛知県企業に対してオープンイノベーションの機運醸成を目的とするネットワーキングプログラムを実施します。

※1 ^{バッチ} Batch01、^{バッチ} Batch02として実施。

※2 短期間で事業共創を加速することを目的に、コーディネーターによる定期メンタリング（面談）、実証実験の支援、愛知県企業の社内プレゼン実施のサポート等を実施。

時 期	内 容
2018年10月	「Aichi-Startup戦略」を策定
2019年4月～	2019年度事業の実施（～2020年3月） 【マッチングプログラム（商談会）の実施】商談件数延べ113件 【ネットワーキングイベントの開催】参加者延べ113名
2020年4月～	2020年度事業の実施（～2021年3月） 【マッチングプログラム（商談会）の実施】商談件数延べ145件 【ネットワーキングイベントの開催】参加者延べ108名 ※2020年度は全てのプログラムをオンラインで実施
2021年4月～	2021年度事業の実施（～2022年3月） 【マッチングプログラム（商談会）の実施】商談件数延べ149件 【ネットワーキングイベントの開催】参加者延べ90名 ※2021年度は全てのプログラムをオンラインで実施
2022年4月～ （現在実施中）	2022年度事業の実施（～2023年3月） 【マッチングプログラム（商談会）及びアクセラレーションプログラムの実施】 【ネットワーキングイベントの開催】（予定）

2 事業概要

① 【マッチングプログラム（商談会）及びアクセラレーションプログラムの実施】

首都圏等のスタートアップと愛知県企業の協業を目的としたマッチングプログラム（商談会）及び具体的な成果の創出を目指したアクセラレーションプログラムを実施。スタートアップと事業会社は、組織の成熟度や業務の進め方、構成員の意識など、それぞれの組織特性に大きな違いがあることから、スタートアップ支援に造詣の深いコーディネーター等を配置して、両者間の調整を実施。両者のキーマンを仲立ちし、時には法務や知的財産権の専門家等、業務の遂行に必要な知見を有する第三者と引き合わせるなどして、オープンイノベーションの円滑な実現を推進。また、スタートアップ側のスピード感に対応できるように事業会社への個別支援を実施。

具体的には、マッチングプログラム（商談会）の Web ページ上に各愛知県企業のエントリーフォームを作成し、コーディネーターのサポートのもと、愛知県企業がスタートアップの選考を行い、最終的な商談会に向けた事前調整を実施。商談後は、コーディネーターによる事業共創に向けた伴走支援や、愛知県企業がオープンイノベーションに係る次年度予算を円滑に獲得できるようにするため、予算確保の意思決定者向けの内部プレゼンテーション開催の支援を実施。

※2019 年度：^{バッチ}Batch01（10月）、^{バッチ}Batch02（2月）のマッチングプログラムを計2回実施
2020 年度：^{バッチ}Batch01（10月）、^{バッチ}Batch02（3月）のマッチングプログラムを計2回実施
2021 年度：^{バッチ}Batch 1（10月）、^{バッチ}Batch 2（2月）のマッチングプログラムを計2回実施
2022 年度：マッチングプログラム（10月）、その後、アクセラレーションプログラムを実施

② 【ネットワーキングイベントの開催】

愛知県企業のオープンイノベーションの機運醸成を目的として、首都圏等のスタートアップと愛知県企業のネットワークづくりを活性化させるプログラムを開催。成功事例やオープンイノベーションを進める上での課題、スタートアップと事業会社間での組織特性の違い等を学ぶとともに、オープンイノベーションの具体的なプロセス、事業化の判断基準などを例示。



2021 年度 ネットワーキング
イベント
(2021 年 11 月 17 日)

3 これまでの成果

(1) 支援概要

2019年度から2021年度の3年間にわたる事業により、下記のような成果が創出されました。

項目	2019年度	2020年度	2021年度	計
① マッチング（商談）件数 ^{※1}	113件	145件	149件	407件
② 協業件数 ^{※2}	2件	5件 ^{※3}	12件 ^{※4}	19件
③ ネットワーキング イベント参加者数	113名	108名	90名	311名

※1 2019年度は延べ25社の企業、延べ88社のスタートアップ、2020年度は延べ29社の企業、延べ164社のスタートアップ、2021年度は延べ33社の企業、延べ175社のスタートアップがマッチングプログラム（商談会）に参加

※2 協業とは、事業会社とスタートアップとによる新規事業の創出、新製品・新サービスの開発などを表す。

※3 このうち、2件は2019年度にマッチングを行い、2020年度に協業成果が表れたもの。

※4 このうち、2件は2020年度にマッチングを行い、2021年度に協業成果が表れたもの。

(2) 具体的な成果事例

○ これまでに19件の協業事例が生まれていますが、そのうち主な事例は以下のとおり。

会社名等【事業実施年度】	事業概要
①株式会社FUJI（知立市） ②bestat株式会社 （東京都文京区） 【2021年度】	ロボットソリューションやマシンツール事業を手掛ける企業（①）と、画像AIソリューションを開発する東大発スタートアップ（②）がタッグを組み、物流業界における課題解決のためのシステム開発を開始。既にファーストステップの開発は完了済。今後は製品化に向けて継続して協業中。
①ヨシックスホールディングス（名古屋市中区） ②株式会社トイポ （福岡県福岡市） 【2021年度】	居酒屋チェーンを展開する企業（①）と、店舗向けプラットフォームを展開するスタートアップ（②）がミニアプリを活用した定量的分析による来店頻度/顧客体験の向上に向け協業。2022年3月、①が②の提供する商品を九州の一部店舗で導入。検証の成果をもとに、九州地域への導入店舗拡大を検討中。
①敷島製パン株式会社 （名古屋市中区） ②Yui support株式会社 （静岡県浜松市） 【2020年度】	2021年9月、製パン会社（①）が農業を通じた地方創生事業を手掛けるスタートアップ（②）に対して2,000万円を出資。同社（②）にて「キッチンカー」を活用し地元野菜の商品の販売を行う新規事業を展開。 ※2021年度に協業成果が表れたもの

4 2022 年度事業について

① マッチングプログラム（商談会）及びアクセラレーションプログラムの実施 （2022 年 5 月 25 日発表済み）

参加企業が今後チャレンジしたい領域や自社の強み、提供可能なリソースをスタートアップに提示し、スタートアップからの協業提案を募り、選考の上、ビジネスマッチングを行います。昨年度まではマッチングプログラムを 2 回実施していましたが、今年度は事業前半でマッチングプログラムを 1 回実施し、その後アクセラレーションプログラムを実施するなどリニューアルし、愛知県企業とスタートアップの事業の共創を支援します。

② ネットワーキングイベントの開催

ネットワーキングイベントを、年 2 回実施し、スタートアップと愛知県企業間のオープンイノベーションの機運醸成を図ります。

内 容	対象者	募集期間	実施期間
マッチングプログラム（商談会）及びアクセラレーションプログラムの実施	首都圏等スタートアップ・愛知県内に本社及び事業所を置く企業	企業：2022 年 5/25～6/16 （募集終了） スタートアップ：2022 年 8 月下旬～10 月上旬頃	5 月～2023 年 2 月 （10 月下旬にマッチングプログラムを実施）
ネットワーキングイベントの開催	同上	8 月、12 月（予定）	9 月、2023 年 1 月 （予定）